

川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会
第6回 市制100周年幹事会
摘録

日時：令和5年12月7日（木）15：00～17：00

場所：川崎市役所本庁舎復元棟201会議室

出席者：幹事長 川崎信用金庫 浅岡部長

副幹事長 富士通株式会社川崎工場 松本シニアマネージャー

幹事 株式会社 チッタ エンタテインメント 若井課長

川崎市PTA連絡協議会 館会長

かわさき市民放送株式会社 畠山部長

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 荻野課長

一般社団法人川崎市観光協会 北嶋主任

新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム 内藤事務局長

日本電気株式会社玉川事業場 中山主幹

味の素株式会社川崎事業所 森次長

事務局：小池事務局長、金井事務局課長、石井事務局課長、岸事務局課長、矢口事務局課長 他

コアメンバー：味の素株式会社 内山氏

富士通株式会社 池田マネージャー

株式会社ホリプロ 須之部副部長

(敬称略)

1 開会

2 報告

報告第1号：実行委員会第3回総会の開催結果及び第4回総会について（資料1）

報告第2号：新規参画団体について（資料2）

報告第3号：広報の取組について（資料3）

報告第4号：実行委員会主催事業について（資料4）

- ・公共空間を活用した賑わい創出プロジェクト「みんなのかわさき祭」開催結果について（資料5）
- ・Colors, Future! Summit2023の開催結果について（資料6）
- ・「脱炭素」プロジェクトについて（資料7）
- ・提案型募集事業について（資料8）

報告第5号：実行委員会参画団体主催事業・パートナー主催事業に関する取組状況について（資料9）

報告第6号：協賛状況について（資料10）

—資料1～10について説明

【浅岡幹事長】

私もColors, Future! Summitに参加させていただきまして、先ほどの報告にあったように準備期間が短かく周知期間をあまり取れなかったこともあり、自分が参加したセッションではあまり人が集まっていななと感じました。来年は事前広報の準備をしていただき、より多くの方に御参加いただけるとういなと思いました。

【森委員】

私どももアミノ酸という堅めのテーマでカンファレンスを実施しましたが、参加人数は全セッション中で最も少なかったんです。事前の広報はもちろん大切ですが、その場にふさわしいテーマがあるのだろうかと思いました。今回は手探りでしたが、テーマがあまり堅過ぎるのもよくないと感じました。

一方、ラゾーナ川崎プラザのルーファ広場にもブースを出させていただきましたが、こちらは非常に活況でした。やはり、自然と人が集まるところになるとブースを出しているだけで多くの人に寄っていただきます。今回やってみて学んだところは多く、この経験は間違いなく来年につながると思っています。

【事務局（荻本）】

今回開催して感じたこととして、今回のような建物内ではなくオープンスペースで開催し、興味がある人が足を止めて参加を促すというやり方もあるのかなと思いました。

【浅岡幹事長】

今、荻本さんがおっしゃっていたように、集客に特に注力しなくても自然と人が集まってくるような仕掛けを思ったのですが、他のイベントとの連動やテーマと親和性のある場所での開催が大事かなと思います。

【館委員】

私はアートのセッションに参加させていただきましたが、とても勉強になりました。アート・フォー・オールの話をしていましたが、参加者はほぼ大人しかおらず、もっと子供たちにも知ってもらえればよかったと感じましたので、何か子供たちの参加を促せるような仕掛けがあってもいいのかなと思いました。アートは、大人より子供たちのほうが感受性が高いと思うので、もっと子供たちに伝えられたらなと感じました。

これからの川崎の100年を担っていく次代の子供たちが、行政に多少なりとも興味を持つきっかけの一つとしても、こういったカンファレンスはすごく意義のある取組だと思うので、来年度はそのあたりも考慮していただけるといいなと思いました。

【若井委員】

恐らくこういったカンファレンスは、まちづくりとかそういったものに興味をお持ちの方はすごく気になると思いますが、会場まで足を運んでとなると、やはりハードルが高いのかなという気がしました。カンファレンスの映像は記録しているのでしょうか。

【小池事務局長】

全セッション撮影していきまして、12月下旬あたりからアーカイブ配信をしていきます。

【若井委員】

素晴らしいと思います。多くの人に好きなタイミングで見てもらえると、財産になっていくのかなという気がするのいいと思います。

【小池事務局長】

貴重な意見ありがとうございます。このColors, Future! Summitは製作委員会という形で、今回ここにもいらっしゃるホリプロさん、味の素さん、富士通さんはじめ、御参加7社で進めさせていただいたプロジェクトでございます。本当に手探りの中でゼロから1を生み出すというところで、須之部さんをはじめ皆様、本当に苦勞されて、ここまでたどり着いたというものです。本当に感謝申し上げたいと思います。

こんなにも多くのカンファレンスがあつて、それぞれがすごくいいものを組み立てていただいて、やってよかったなと感じていますが、これをいかに多くの方に知っていただいて、参加を促すかというのが、今回の課題だと思っています。

先ほどの話にもありましたが、通りかかった人が気軽に参加できるようなことも非常に重要かと思っています。土曜日の市役所通りは閑散としていて、誰も通らない。そんななかで本庁舎の中でこのイベントをやっているのはもったいないなと感じました。例えば「みんなの川崎祭」のようなイベントと併せての開催であったり、あるいは新百合ヶ丘のマルシェをやっているところにステージを置いて、そこで話すだとか、溝の口でも「脱炭素アクションみぞのくち」をやっているときにテーマに合わせたカンファレンスをするなど、開催するカンファレンスのテーマに興味がある人が多く集まる場所で開催するといった仕掛けもできるのかなと思いますので、色々検討しながら来年に繋げていきたいと思ひます。

今後もまたいろいろな御意見をいただければありがたいなと思ひますので、引き続き幹事会としても応援していただきますようお願いいたします。

あともう一点。「みんなの川崎祭」についてですが、この市役所通りを通行止めにして歩行者空間にするのはなかなかチャレンジングな取組でした。警察ともかなりの協議を要しましたが、今回開催してみて、市役所通りでもこんなことができるんだということを証明できました。こういった公共空間の活用を市内各地でもやっていきたいと思ひています。

中原区のほうでも公共空間やNECさんの目の前の空地の活用や、武蔵小杉駅前のコアパークや登戸駅前の公共空間でイベントを開催するなど様々な取組をしていますが、今回は市役所通りという象徴的な場所で開催させていただいたので、ぜひこれも活かしながら進めていきたいと思ひています。こちらの取組も、応援、サポートについてぜひよろしくお願ひいたします。

【内藤委員】

今回の「みんなの川崎祭」では川崎駅周辺で開催しましたが、川崎市は北部まで魅力が連なっているので、来年はぜひ市内各地で開催いただいて、普段知られていないような地域にも来てもらい、多くの人に川崎の魅力を知ってもらいたいと思います。

【中山委員】

実行委員会参画団体主催事業の登録についてですが、今年度実施したプレ事業についても登録していいのでしょうか。

【事務局（石井）】

今年度のプレ事業についても、ぜひ登録いただければと思います。また、実施前に登録いただくことにより、イベントなどは事前の広報になりますのでぜひよろしくお願ひします。

【館委員】

ホームページ上では、今年度のプレ事業と来年度の本事業とで、何か区別はあるのでしょうか。

【事務局（石井）】

プレ事業と本事業とで、ホームページ上での区別は特にしておらず、プレ事業も本事業も全て一貫して広報させていただいております。

【森委員】

例えば、私どもが11月に開催した「あじ祭り」のような民間企業が実施しているイベントについても、市制100周年と連携しているという整理であれば、事業登録は可能なのでしょうか。

【事務局（石井）】

市制100周年と関連がないものについては記念事業ではないので登録はできませんが、少しでも100周年に絡めていただければ、参画団体が主催した記念事業となります。各企業様で例年実施している事業についても、100周年を応援する、例年の内容にプラスアルファしている取組でしたら記念事業として登録させていただき、広報等の支援をさせていただきますので、ぜひよろしくお願ひいたします。

【森委員】

承知いたしました。

今回、意識的にフェス&カンファレンスと同日に「あじ祭り」を開催したのですが、同日に複数のイベントを開催しても参加者が分散してしまうため、むしろ意図的に分散させたほうがいいのかもありませんでした。特に秋はイベントが集中するので、各企業が個別に動くのではなく、連携し合い、開催を分散させるなどの様々な工夫ができるのではないかと思います。

【小池事務局長】

ありがとうございます。少し補足させていただきます。今回の市制100周年記念事業の趣旨として、川崎は南北に長いので、南部地域にお住まいの方は北部をあまり知らないといったことがあると思うので、100周年を機に市内で様々なイベント等を実施することによって、川崎市全体を知っていただきたいというのが、1つ大きなコンセプトとしてあります。

市内企業の皆様にとっても、こういった100周年の場を使っていただきながら、こんな面白い取組をしているということを市民の方に知っていただくいい機会になればと思っていますので、ぜひ100周年に少し絡めて、100周年だから何か面白いことをやってみようといった、プラスアルファの取組をしていただきまして、実行委員会の広報媒体で企業様の取組をご紹介させていただきたいと思います。

また、Colors, Future! Summitのフェスティバル連携については、いろいろな課題はありましたが、デジタルスタンプラリーでつなぎ、回遊性を高めたことにより、市内の様々なイベントを知っていただくことに繋がりました。

開催時期の組合せなど、課題はあると思いますが、市内の至る所で面白いイベントをやっていることを知っていただきながら、市内を回遊していただくということにもチャレンジしていきたいと思っています。

【森委員】

それでは、各企業の取組も営利目的でなければ、「100周年記念」や、「100周年を応援しています」などのタイトルをつけて、例年の内容にプラスアルファすることにより実行委員会の広報媒体に取り上げていただけるということでしょうか。

【小池事務局長】

そうですね。ハードルを高くしてしまうと参加していただけなくなってしまうと思っています。参画団体主催事業以外にも、パートナー主催事業については市民の方や商店の方々など多くの方に参加していただきたいと思っていますので、ぜひ100周年を一緒に盛り上げていただければと思っています。本日、私たち事務局の思いと、各企業の皆様の認識のギャップを少し感じましたので、参画団体主催事業や、パートナー主催事業の趣旨を、しっかりと伝えていく必要があるなど、改めて感じましたので、工夫しながら取り組んでいきたいと思っています。

【松本委員】

先日、弊社も1件、中原区にある富士通本店川崎工場の壁面に100周年の新ビジュアルを投影することを実行委員会ホームページのイベントカレンダーに登録させていただきました。12月22と23日に投影を予定しており、南武線からも見えますのでぜひ御覧いただければと思います。

3 議事

議案第1号：市制100周年記念事業実施計画の改定の方向性について（資料11）

—資料11について説明

【浅岡幹事長】

今回は1月の素案に向けての方向性の確認ということですので、項目に過不足があるかといった観点で御意見をいただければと思います。

具体的な中身については、次回の幹事会にてお示しいただき、具体的な内容についてはそこで御意見をいただきたいと思います。御意見、御質問はありますでしょうか。

（意見なし）

それでは、議案第1号については前に進めていただいて、来月中身の検討ということでもよろしく願いいたします。

議案第2号：（仮称）かわさき100（飛躍）祭について（資料12）

—資料12について説明

【中山委員】

このイベントはかなり大がかりになると思いますが、6月29日の1日だけの開催なのでしょうか。例えば、にぎわいイベントについては、翌日も開催すると更に多くの来場者につなげることができないかなと思いました。また、等々力緑地は屋外ですが、開催日が梅雨の時期のため、雨天時の雨の対策があるといいと思いました。川崎市スポーツ協会では10月9日に、等々力でスポーツフェスタを開催しましたが、朝から土砂降り、40ほど用意していたスポーツ体験のうち半分弱は実施できませんでした。

【事務局（宮下）】

ありがとうございます。現在、1日開催という形で関係者と協議しておりますが、可能な範囲内で2日間開催についても検討してまいりたいと思います。また雨天時の対応についても検討していきたいと思っております。

【若井委員】

この企画はとてもすばらしく、多くの人が集まるのではないかと考えています。何かプラスアルファする要素があるとなれば、せっかくこれだけのイベントを開催するので、翌日には全国ニュースになるような、川崎市民だけでなく、全国の方にまで知

られるようなネタがあるととてもいいと思いました。そして、本イベントが話題となり、これが川崎市の100周年記念のイベントで、川崎市が面白い取組をしているということを全国に発信できるといいと思いました。

【北嶋委員】

夜の等々力競技場にドローンショーを行うというのもどうでしょう。インスタ映えしますし、SNSで結構バズるのではないかと思いますので、検討可能でしたら、それもいいかなと思います。

【小池事務局長】

音楽フェスは野外の球場でやるので、周りの空間でも音漏れを楽しんでいただきたいというところもございますし、音楽フェスを野球場でやるということが一つのチャレンジでもあって、これからの等々力緑地活用のトライアルのような側面もあるので、100周年を機に等々力緑地を様々なことに活用していくチャレンジでもあります。

【館委員】

来年度も「Colors,Future! Summit」や「みんなの川崎祭」をはじめ、多くのイベントが控えていると思うので、イベントの中で、次に控えているイベントのPRをするなど、次のイベントへの連続性のようなものがあるといいと感じました。次へ次へと盛り上がりを醸成できるといいと思います。

【事務局】

例えば緑化フェアなど、すでに日程や場所が決まっているものについては、イベント中に広報していきたいと思います。

【荻野委員】

市制100周年記念グッズや、写真映えするモニュメントみたいなものは作る予定はあるのでしょうか。たとえば、100周年記念のイベントに参加した際に、思い出にグッズを買って帰ることや、モニュメントのところで写真を撮って帰るなど、そういうものがあってもいいかなと思いました。

【小池事務局長】

緑化フェアについては、写真映えするスポットを会場に用意することは今後検討されていくと思いますが、100周年としては、長期間同じ場所で開催するイベントがないので、そういったスポットを用意することは難しいと感じています。しかし、イベント参加時の記念として写真を撮って帰りたいと思えるスポットはあるといいと思うので、いただいた御意見も含めて検討したいと思います。

【浅岡幹事長】

その他御意見はございますでしょうか。それではこの方向で進めていただければと思います。

4 閉会

以上